

2013年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2012年9月7日

上場会社名 マックスバリュ北海道株式会社 上場取引所 大
 コード番号 7465 URL http://www.mv-hokkaido.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 山尾 啓一
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理本部長 (氏名) 平田 炎 (TEL) (011)631-5192
 四半期報告書提出予定日 2012年9月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2013年2月期第2四半期の業績 (2012年2月1日~2012年7月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2013年2月期第2四半期	41,134	3.9	244	10.6	271	25.4	117	—
2012年1月期第2四半期	39,594	4.7	220	—	216	—	△279	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2013年2月期第2四半期	17.13	17.10
2012年1月期第2四半期	△41.00	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2013年2月期第2四半期	25,533	6,657	26.0
2012年1月期	23,468	6,578	28.0

(参考) 自己資本 2013年2月期第2四半期 6,644百万円 2012年1月期 6,565百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2012年1月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2013年2月期	—	0.00	—	—	—
2013年2月期(予想)	—	0.00	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2013年2月期の業績予想 (2012年2月1日~2013年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	88,000	—	880	—	880	—	180	—	26.36

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2 2013年2月期は、決算期変更に伴い13ヶ月の変則決算となるため、通期業績予想は13ヶ月間の予想数値を記載しており、対前期増減率については記載しておりません。

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2013年2月期2Q	6,941,350株	2012年1月期	6,941,350株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2013年2月期2Q	105,211株	2012年1月期	112,944株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2013年2月期2Q	6,832,064株	2012年1月期2Q	6,828,406株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

※ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で使用した資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

・2012年9月12日（水曜日）・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における北海道地域の経済は一部に持ち直しの動きが見られるものの、電力供給の制約、異常気象による影響、国内外の政治経済の動向などにより先行き不透明な状況にあります。

当社の属するスーパーマーケット業界では、雇用不安や所得の伸び悩み中、お客さまの節約志向は強く、業種・業態を越えた競争の激化も相まって厳しい経営環境が続いております。

このような経営環境の下、当社は「次代を見据えた 変革への挑戦」のスローガンを掲げ、商圈シェアの拡大に取り組んでまいりました。当第2四半期累計期間においては、9店舗の活性化と3店舗の業態転換を行いました。

店舗活性化では、特にシニアマーケットに対応した品揃えや売場づくりの見直しをコンセプトに、3月「マックスバリュ手宮店(小樽市)」、4月「マックスバリュ静内店(新ひだか町)」、6月「マックスバリュ留萌店(留萌市)」の3店舗を改装致しました。具体的には、生鮮各部門での小容量商品の充実、惣菜売場での品揃えの拡充、地場商材の導入、店内表示物関連の大型化などに取り組みました。

札幌市内の地下鉄駅近隣店舗を中心に、惣菜売場のスペース拡大と品揃えの充実を目的とした店舗活性化を、2月「マックスバリュ菊水店」、3月「マックスバリュ琴似店」、4月「マックスバリュ北店(いずれも札幌市)」、「マックスバリュ滝川店(滝川市)」、7月「マックスバリュ北32条店(札幌市)」で実施致しました。

また2月には「マックスバリュ澄川店(札幌市)」において当社2号店目となる、第二・第三類の医薬品販売を導入致しました。

業態転換では、3月「ジョイ前田店(札幌市)」を「ザ・ビッグ エクスプレス前田店」に、5月「札幌フードセンター豊平店(札幌市)」を「ザ・ビッグ豊平店」に、6月「マックスバリュ士別店(士別市)」を「ザ・ビッグ士別店」にディスカウント業態へ転換致しました。ビッグ士別店では、ギフト商品の品揃え拡大等新たな取り組みも実験スタートいたしました。

また、お客さまの節電意識や早朝型ライフスタイルへの関心の高まりから6月1日より早朝7時開店を順次開始致しました。7月末現在24時間営業店舗を含め47店舗で早朝営業に取り組み、多くのお客さまよりご支持いただいております。さらにイオンのグループ力を活かした商品調達やプライベートブランド商品の拡大が、売上総利益の増加に結びつきました。

社内での取り組みでは、引き続き食品表示、衛生管理、労務および防災管理に係る法令順守を重点実施項目として、店長会議や、売場担当者会議を通じての教育および実施の強化に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、営業収益411億34百万円(前年同四半期比3.9%増)、営業利益2億44百万円(前年同四半期比10.6%増)、経常利益2億71百万円(前年同四半期比25.4%増)、四半期純利益1億17百万円(前年同四半期は四半期純損失2億79百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて12.0%増加し、80億31百万円となりました。これは、現金及び預金が8億16百万円増加したこと等によります。

固定資産は、前事業年度末に比べ7.4%増加し、175億1百万円となりました。これは、敷金が5億48百万円減少したものの、土地が18億11百万円増加したこと等によります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ8.8%増加し、255億33百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べ9.3%増加し、133億24百万円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が3億75百万円、支払手形及び買掛金が2億99百万円、流動負債その他に含まれる未払費用が2億15百万円それぞれ増加したこと等によります。

固定負債は、前事業年度末に比べ18.2%増加し、55億52百万円となりました。これは、長期借入金が11億8百万円増加したこと等によります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ11.8%増加し、188億76百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べ1.2%増加し、66億57百万円となりました。これは、利益剰余金が80百万円増加したこと等によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末に比べ8億16百万円増加し、18億72百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は前年同四半期に比べ18億13百万円減少し、8億17百万円となりました。

収入の主な内訳は、減価償却費4億44百万円、仕入債務の増加額2億99百万円、税引前四半期純利益2億46百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は前年同四半期に比べ16億17百万円増加し、14億51百万円となりました。

収入の主な内訳は、敷金の回収による収入5億60百万円であり、支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出21億84百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は前年同四半期に比べ26億58百万円増加し、14億50百万円となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出13億15百万円があったものの、長期借入金による収入28億円があったためによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

2013年2月期の業績予想につきましては、2012年3月14日に公表しております業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2012年1月31日)	当第2四半期会計期間 (2012年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,056,181	1,872,436
売掛金	224,430	242,159
商品	2,070,676	2,062,478
貯蔵品	27,131	23,603
繰延税金資産	184,063	217,631
未収入金	2,959,502	2,999,013
その他	681,281	642,485
貸倒引当金	△30,087	△27,906
流動資産合計	7,173,180	8,031,902
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,864,642	4,956,585
土地	2,985,030	4,796,419
その他(純額)	1,024,056	1,032,632
有形固定資産合計	8,873,729	10,785,637
無形固定資産	37,275	32,720
投資その他の資産		
投資有価証券	134,947	120,169
繰延税金資産	1,117,599	1,165,324
敷金	3,676,279	3,128,002
建設協力金	2,196,960	2,020,978
その他	466,771	442,000
貸倒引当金	△208,485	△193,122
投資その他の資産合計	7,384,073	6,683,353
固定資産合計	16,295,077	17,501,711
資産合計	23,468,258	25,533,613

(単位：千円)

	前事業年度 (2012年1月31日)	当第2四半期会計期間 (2012年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,795,699	7,095,185
1年内返済予定の長期借入金	2,093,118	2,468,646
未払法人税等	170,415	233,779
引当金	36,220	27,607
設備関係支払手形	58,657	217,874
その他	3,039,865	3,280,992
流動負債合計	12,193,975	13,324,085
固定負債		
長期借入金	3,154,288	4,263,006
資産除去債務	498,282	485,352
その他	1,043,038	803,764
固定負債合計	4,695,609	5,552,123
負債合計	16,889,585	18,876,208
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,176,445	1,176,445
資本剰余金	1,206,839	1,206,839
利益剰余金	4,400,841	4,480,916
自己株式	△194,690	△181,340
株主資本合計	6,589,434	6,682,859
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△24,027	△38,805
評価・換算差額等合計	△24,027	△38,805
新株予約権	13,266	13,351
純資産合計	6,578,673	6,657,405
負債純資産合計	23,468,258	25,533,613

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2011年2月1日 至 2011年7月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2012年2月1日 至 2012年7月31日)
売上高	38,913,761	40,460,099
売上原価	29,944,738	31,368,735
売上総利益	8,969,022	9,091,364
その他の営業収入	680,670	674,899
営業総利益	9,649,693	9,766,263
販売費及び一般管理費	9,429,038	9,522,217
営業利益	220,655	244,046
営業外収益		
受取利息	19,832	16,469
貸倒引当金戻入額	—	15,902
リサイクル材売却収入	7,637	13,184
その他	11,565	16,575
営業外収益合計	39,036	62,130
営業外費用		
支払利息	38,755	32,649
その他	4,865	2,498
営業外費用合計	43,621	35,148
経常利益	216,070	271,028
特別利益		
貸倒引当金戻入額	14,664	—
資産除去債務戻入額	—	16,728
特別利益合計	14,664	16,728
特別損失		
固定資産除却損	8,014	15,975
減損損失	41,969	15,984
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	301,314	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	9,725
その他	13,555	—
特別損失合計	364,854	41,685
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△134,119	246,071
法人税、住民税及び事業税	22,956	210,340
法人税等調整額	122,869	△81,292
法人税等合計	145,826	129,047
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△279,946	117,024

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2011年2月1日 至 2011年7月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2012年2月1日 至 2012年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△134,119	246,071
減価償却費	438,394	444,946
減損損失	41,969	15,984
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	301,314	—
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	—	9,725
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△15,278	△17,543
役員業績報酬引当金の増減額 (△は減少)	△17,982	△18,338
受取利息及び受取配当金	△21,273	△17,909
支払利息	38,755	32,649
固定資産除却損	8,014	15,975
売上債権の増減額 (△は増加)	△10,770	△17,728
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△37,705	11,725
未収入金の増減額 (△は増加)	△358,237	△39,510
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,936,738	299,486
未払金の増減額 (△は減少)	△75,714	△92,286
未払費用の増減額 (△は減少)	404,012	214,704
未払消費税等の増減額 (△は減少)	39,779	△52,907
預り金の増減額 (△は減少)	173,298	180,493
預り保証金の増減額 (△は減少)	△46,072	△222,914
その他	38,434	△6,904
小計	2,703,557	985,720
利息及び配当金の受取額	10,852	8,136
利息の支払額	△37,338	△32,150
法人税等の支払額	△45,975	△144,200
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,631,095	817,505
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△86,265	△2,184,402
敷金の差入による支出	△2,958	△12,305
敷金の回収による収入	24,204	560,582
建設協力金の回収による収入	253,397	191,887
その他	△22,273	△7,027
投資活動によるキャッシュ・フロー	166,105	△1,451,265

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2011年2月1日 至 2011年7月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2012年2月1日 至 2012年7月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	2,800,000
長期借入金の返済による支出	△1,207,937	△1,315,754
自己株式の取得による支出	—	△97
配当金の支払額	△117	△34,141
その他	—	7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,208,054	1,450,015
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,589,145	816,255
現金及び現金同等物の期首残高	1,794,441	1,056,181
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,383,587	1,872,436

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。